

オアシス21

No. 108

令和7(2025)年
3月

福祉にいがた 第871号(7面、10~12面)

CONTENTS

巻頭特集

「ねんりんにいがた」岐阜へ火ぶた

(2・3面)

● シニアカレッジ巳年の変革 ● 表紙絵、新井里沙さんに交替



絵 「ふくろう」 作・久保田 学(聖籠町) || 最終回

(作者一言) 綺麗(きれい)なエメラルドグリーンの羽

パワー全開にいがたねんりん

5月から 順次「全国」へ14種目熱戦

10月18日開幕の第37回「全国健康福祉祭ぎふ大会」（ねんりんピック岐阜2025）への出場を目指す新潟県選手選考を兼ねた第30

回「にいがたねんりんピック」（主催・新潟県社会福祉協議会、共催・新潟県、新潟市など）が5月から種目ごとに各地で開かれます。

照りが増えます。

岐阜大会は本来、令和2（2020）年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により開催延期、中止となりました。その後、神奈川、愛媛、鳥取での開催の後、再び岐阜大会が計画されました。

今秋の岐阜大会はいわば「やり直し戦」であり、本意ながら不完全燃焼の思いを抱いた選手を含め、各選手の奮闘が期待されます。

「剣道」の10種目です。ふれあいスポーツ交流大会は新種目「パドルテニス」をはじめ「太極拳」「ソフトバレーボール」「バウンドテニス」「ダンススポーツ」など16種目です。「囲碁」「健康マージャン」など、文化交流大会は5種目です。これら31種目は県内24市町が会場となります。

そーと称される岐阜県で、日本海や日本一の大河、国境の山岳など、雄大な大自然に育まれた新潟県選手団の活躍が期待されます。

種目ごとの競技大会は主に総合開会式の翌19日から県内各地で熱戦展開、21日午後閉会します。

スポーツ交流大会は「卓球」「テニス」「ソフトテニス」「ソフトボール」「ゲートボール」「ペタンク」「ゴルフ」「マラソン」「弓道」

ねんりんピック岐阜

10月18日開会式 21日まで31種目

「いざ！ 岐阜！」。清流に輝け ひろがれ 長寿の輪」をテーマに第37回「全国健康福祉祭ぎふ大会」（ねんりんピック岐阜2025）

25）が10月18日（土）、岐阜県岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場での総合開会式で開幕します。日本の重心、日本のへ

「健康マージャン」など、文化交流大会は5種目です。これら31種目は県内24市町が会場となります。

第30回「にいがたねんりんピック」14種目

種目	開催日	会場
テニス	5月3日(土)	新潟市庭球場
ソフトボール	5月10日(土)	清里スポーツ公園
剣道	5月11日(日)	アスパーク亀田
弓道	5月18日(日)	弥彦神社弓道場
ダンススポーツ	5月18日(日)	鳥屋野総合体育館
バウンドテニス	5月18日(日)	黒崎地区総合体育館
卓球	5月25日(日)	吉田総合体育館
ゲートボール	5月29日(木)	十日町市陸上競技場
ソフトバレーボール	5月予定	長岡市みしま体育館
ゴルフ	6月5日(木)	フォレストカントリー倶楽部
ペタンク	6月予定	佐藤池サッカー場
太極拳	10月12日(日)	新潟市西総合スポーツセンター
グラウンドゴルフ	10月23日(木) 10月24日(金)	ニュー・グリーンピア津南
ソフトテニス	未定	未定



第37回 全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜2025

清流に輝けひろがれ長寿の輪 2025年10月18日(土)〜21日(火)

「ねんりんピック岐阜2025」 Mascot キャラクターのミナモです。キラキラした、岐阜の清流の水面に住む妖精だよ。

緩急自在 光る技と友情と

昨年10月に鳥取県で開かれた「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」。遠い開催地へ遠征した新潟県選手団は、同じ日本海側の地に親近感を感じながら堂々の熱戦を繰り広げ、拍手を集めました。鋭いサー

ブ、力強いスマッシュ、うなる竹刀、バット、優雅な演舞…。砂丘に友情と交流の思い出を重ねながら、県選手団の選手たちは随所で熱い技を繰り出しました。14種目の熱戦譜を写真で紹介します。



▲太極拳



▲ベタンク



▲テニス



▲弓道



▲卓球



▲ソフトボール



▲グラウンドゴルフ



▲剣道



▲マラソン



▲ソフトテニス



▲ゲートボール



▲ソフトバレーボール



▲eスポーツ



▲ゴルフ

きらっ人

インタビュー

インバウンド(訪日外国人)の数は過去最多を記録。日本の生活や文化体験が人気のようです。新潟のインバウンドに特化した長岡市の旅行会社「8TRIPS」代表の町田久美子さんに聞きました。



日本の原風景と暮らしの知恵が旅の価値を高め、心をつなぐ 誇れる故郷をつくるインバウンド観光

8TRIPS代表 町田久美子さん

郷に入って郷に従い より深い異文化理解へ

大学卒業後、大手旅行会社の添乗員として世界各国を巡っていました。海外支店の立ち上げのため、マレーシアの首都クアラルンプールに赴任。その後、日系コピー機メーカーの営業チーフとして現地採用。製品知識や経験もありませんでしたが、大変な時こそ燃

える性分なんです。部下を率いてがむしやりにコピー機を売って、成績を上げました。社内調整や売上配分の交渉では、英語力も鍛えられた。「日系の会社だからひいきされている」と言われるのが悔しくて。日本人だという感覚は捨て、英語で話し、屋台で現地の人と同じものを食べました。生活や文化に深く関わり、友達もたくさんできました。こうした経験が異文化体験を楽しめる旅行会社の設立につながりました。

目には見えない ストーリーを軸に

2012年に新潟へ戻り、インバウンドに特化した旅行会社8TRIPSを設立しました。なるべく観光地化されていない所を案内しています。普通

【まちだ・くみこ】

十日町市出身。長岡市育ち。テレビ番組で見た客室乗務員にあこがれ、大学卒業後、大手旅行会社の海外添乗員を務める。15年の海外赴任を経て2012年に帰国。50代半ばで8TRIPSを設立して8年目。



「昔ながらの姿を残してほしいですね」と語る町田さん

の農家さんや、民家、バックヤード…地域と深く触れ合える旅です。

最近、長岡で錦鯉発祥の地を巡るツアーを始めました。棚田と棚田の風景は本当に美しい。山古志の人からは「こんな山の中、面白くないだろう」と言われましたが、私が伝えたいのは、見た目だけではありません。この景観は豪雪



地の雪解け水を生かした暮らしの知恵と、厳しい大自然と共に生きる人々のたくましさを感じたというストーリーが旅のポイントです。営みのユニークさに外国人も心を引かれています。日本農業遺産第1号にも認定され、地元も誇りに思っています。

日本人の技や精神性 外からの目で気付かされる

燕三条のオープンファクトリーも、



人との出会いを通じて 心に残る旅を

外から見られることで工場で働く職人が、自分の技の素晴らしさに気付かされた事例でしょう。アメリカ人は包丁研ぎ体験ツアーが大好きで、「包丁を研ぐのが日本人だ」といって、1時間も研ぎ続けるんです。日本刀の製造技術から発展した鍛造包丁は、熟練の職人が丹念に叩いて強度を増し、磨き上げたもの。その包丁にこだわって手入れをする日本人がかっこいいという。切れば何でもいなんて考えていた私の方こそ、包丁研ぎに込められた日本の精神性に気付かされます。

外国人ファミリーが、小千谷の片貝花火で10歳くらいの息子さんの成長を祈って奉納花火を上げたことがあります。2日間連続、栈敷に入って鑑賞されました。前後左右は地元の方で、たまたま隣も10歳くらいの男の子がいて、子ども同士ですごく仲良くなりました。2日目は日本人の男の子が折り紙を持ってきて、2人で花火を見ないでずっと折り紙を折っていました。言葉が通じなくても、私たちは相

互に見られることで工場で働く職人が、自分の技の素晴らしさに気付かされた事例でしょう。アメリカ人は包丁研ぎ体験ツアーが大好きで、「包丁を研ぐのが日本人だ」といって、1時間も研ぎ続けるんです。日本刀の製造技術から発展した鍛造包丁は、熟練の職人が丹念に叩いて強度を増し、磨き上げたもの。その包丁にこだわって手入れをする日本人がかっこいいという。切れば何でもいなんて考えていた私の方こそ、包丁研ぎに込められた日本の精神性に気付かされます。



手を思う感情を醸し出すことができます。インバウンドの受け入れを考える地域が増えてきました。観光地化せず、何も変えないでと伝えていきます。異文化に気付くことが面白い。本物の日本を見たいという人のための姿を維持して、心を伝えてほしいと思います。



両ページの写真は、外国人観光客に新潟や日本各地の魅力を知ってもらおうと、8TRIPSが企画した旅先のスナップ。山古志の棚田、清津峡、片貝花火などでの楽しい思い出が伝わってくる

その土地の魅力を引き出し 唯一無二の物語を大切に伝える

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



チャリティー実行委を代表して寄付金を贈った阿部正喜さん(右)。左は県共募の佐藤明会長

子ども食堂支援 メディアシップ慈善企画実行委

県共募へ50万円

子ども食堂支援につなげようと、新潟日報メディアシップ(新潟市中央区)で昨年12月25日まで約1カ月の間、実施されたチャリティー企画の実行委員会が2月3日、収益や寄付金など計50万円を新潟県共同募金会に寄付しました。

期間中、メディアシップ1階などでは「希望のシンボルツリー」展示やグッズ販売、募金などが行われま

里親里子を支援、集う場に

テーブルいす購入 助成でサロン開設

「美穂の里」では赤い羽根共同募金の「地域活動支援事業」の助成を受け、里

新潟市中央区で里親・里子の支援に取り組む一般社団法人「美穂の里」(五十嵐ふさ代表理事)から、

ありがとうございます。紹介します。

「美穂の里」では赤い羽根共同募金の「地域活動支援事業」の助成を受け、里

里親は里親同士、里子は里子同士それぞれに同じような悩みを抱えるケースが

トでつくるメディアシップコミュニティション会の阿部正喜会長が「わずかかもしれないが、子どもたちのために役立てていただければ」とあいさつ。目録を県共募の佐藤明会長に手渡ししました。

県共募は寄付金と、NHK歳末たすけあいの募金を原資に、子ども食堂へ助成します。

ありがとうございます
メッセージ

「美穂の里(新潟市中央区)

親里子を支援する支え合い事業を実施しました。

里親は里親同士、里子は里子同士それぞれに同じような悩みを抱えるケースが

あり、互いに支え合うには「気軽に集まれる場」が必要と考えました。助成を受けてテーブルやいすなどの備品を購入、法人の施設内で里親・里子サロンを開きました。サロンで里子たちは子ども食堂のように食事しながら居場所としてくつろぎました。里親たちも養育の仕方などを別の里親からアドバイスされるなど、交流の場となりました。

どの里親も使命感を持って里子の養育に努めていますが、中途養育はやはり難



助成を受けて購入したテーブルといすを使ったサロン

しく、行き詰まって養育をギブアップする仲間や、居場所を失う里子は少なくありません。

参加者が固定化しないよう、告知に努めて新たな参加者を募る一方、引き続き、里子も里親も気軽に集まれる場として親しんでもらいたいと思います。

共同募金にご寄付いただきました皆様改めて感謝申し上げます。

能登半島地震義援金

県共募受け入れ 約1億5千万円

12月まで募集期間延長

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の新潟県内被災者支援のため、新潟県共同募金会が呼びかけた義援金の受け入れ状況を中間報告します。

1月21日現在で約1億4821万円です。義援金の募集期間は令和7年12月26日まで延長されています。引き続きご協力をお願いいたします。



赤い羽根

情

報



巳年に脱皮 変革・飛躍へ

令和7年度 新入学生募集せず

2年制を1年制に 令和8年度

シニアの学びの場「シニアカレッジ新潟」(以下、カレッジ)の主催・新潟県社会福祉協議会Ⅱが大きく変わります。巳年の今年、脱皮を繰り返し成長するへびのように、カレッジも変革と飛躍を目指します。まず、これまで2年制だったカレッジは令和8年度から1年制に移行し、7年度はその準備期間となります。また、7年度から新学長に新潟大学大学院の葭原明弘教授を迎えます。さらに、7年度は県内3会場で公開講座が計画されるなど、カレッジは話題がいっぱいです。



学べば見えてくる 新たな世界

シニアカレッジ新潟の講義のひとコマ。いくつになっても、いやシニアだからこそ、学べば学ぶほど見えてくる新たな世界!

【令和7年度のカレッジ】

1年制のシニアカレッジ新潟は令和8年度からスタートします。令和7年度は前年度に入学した学生の2年次講義を実施、新入学生は募集しません。新入学生募集は令和8年度からです。

令和7年度からカレッジの会場は新潟が新潟ユニゾンプラザ、長岡がアトリウム長岡とこれまで通りですが、上越はアートホテル上越(上越市本町5)が会場となります。

【1年制】新潟県高齢者

大学を前身とするカレッジの運営目的はシニアへの学びの場の提供だけでなく、地域のリーダーの養成にもあります。座学だけでなく、実践の場にこそ「学びの材料も機会もある」というスタンスを、カレッジは堅持

新学長に葭原教授(新大院)

退任の石上学長 人間味ある講義人気

してきました。

学生には1年間、濃密に学んだ学習成果を地域へ持ち帰ってもらい、一日も早く地域リーダーとして活躍することを願っています。

ただ、2年制から1年制への移行に伴い、講義のレベルや内容が単に半減することのないよう、カレッジ

事務局はカリキュラム編成などで工夫します。

カレッジが変革と飛躍を目指す意義を県民に広くアピールするため、令和7年度に上中下越の県内3会場

でカレッジ公開講座を計画しています。日時や講座内容などが決まり次第、ホームページなどでお知らせ

し、参加者を募集します。

【学長交代】石上和男学長が令和6年度末で退任、新年度から新学長に新潟大学大学院の葭原明弘教授を迎えます。葭原教授は大学院の医歯学総合研究科の口腔保健学分野が専門です。9月に新学長インタビューを掲載しました。

新潟医療福祉大学の石上教授はシニアカレッジ新潟の学長を10年間務めていただきました。医福大のゼミ学生の調査研究データも使用しながら、人間味とユーモアにあふれた講義が人気で、カレッジの発展に多大な貢献をされました。

多くの卒業生ともども、事務局からも心より、お礼を申し上げます。

カレッジ主催の県社協

石上氏に感謝状

新潟県社会福祉協議会は学長を勇退する石上和男氏への感謝状贈呈を決定。3月10日、竹内希六・県社協会長が手渡します。

新学長インタビュー

シニアカレッジ新潟の学長が10年ぶりに交代します。令和7年度、新学長に就任する**葭原明弘**・新潟大学大学院教授（医歯学総合研究科 口腔保健学分野）に学長就任の抱負などを聞きました。

よしはら あきひろ
葭原 明弘 新学長
新潟大学大学院 医歯学総合研究科教授
(口腔保健学分野)



「よしはら・あきひろ」新潟大学大学院医歯学総合研究科教授（口腔保健分野）、新潟大学歯学部口腔生命福祉学科長。博

士（歯学）。三条高校、新潟大学歯学部卒。上越市生まれ。研究の傍ら講義や臨床、さらに地域歯科保健活動にも注力。

「お名前の「葭（よし）」 ちました」

「沼に生える葦（よし・あし）」と同じ意味ですが、まず読んでもらえません。

「シニアカレッジには以前から講義で関わってお

上越地方の名

字で、私はそ

こで生まれた

後、引越した

先の下越で育

見て触れる学び楽しい
考えること、何より大切

り、学生さんたちは優秀だと受け止めています。きっと、現役時代はそれぞれの分野で活躍されたのだと思います。そのような学生たちが『カレッジで学んでおしまい』ではもったいない。学んだことをその後、どう生かすのか、そのサポートやお手伝いをするのを、学長として目指したい」

「学び」に

ついて、ご自

身はどう考え

ますか？

「20年ほど

前、自宅のある西蒲区で北国街道について調べ、実際に歩いてみたらとても楽しかった。やはり、学ぶのは机上だけでなく実際に見て触れることが大切だと思います」

「賢い勉強方法はありませんか？

「考えること、ですね。一度、習った事柄や解いた問題をそれつきりにせず『別の解き方はないか』など、改めて考えてみる事が大事です。併せて関連問題に

も挑戦すれば、学んだ知識の幅が広がります」

「学生に求める学びの姿勢は？」

「学んだことは地域へ還元してほしい。どのように還元できるか、自分なりの方法や発展型を見出すことを学びの目標にお願いしたい。地域に関われば地域が活性化され、地域の文化の継承にもつながります」

「ご自身、

学びや仕事か

らのリフレッ

シユ法は？

「週末は近

くの里山に登

るのが息抜き

です。特に角

田山は四季を

通じて楽しめ

る。そして、年

に数度はもつ

と大きな山へ

本格的な登山

にも出かけて

います」

学んだ成果は地域へ
還元の仕組みづくりは支援

「週末は近

このたび、島津印刷はまちごと美術館と提携し、アートレンタル事業をスタートいたしました。

「障がい者アートレンタル」で新潟の共生社会づくりをはじめませんか？

まちごと美術館cotocotoとは、障がいがある人の作品レンタルを通して、社会・人と人との関係を結び、新潟の街が色とりどりの感性に溢れるように、じっくりコトコトと深めていこうとする取り組みです。

■まちごと美術館cotocotoの仕組み

所属作家さん → 所収 → まちごと美術館 → アートレンタル → 企業 → SDGs → 所属作家さん

福祉施設で創造されるアートをレンタル。

レンタル料金の一部をアーティストに還元します。

お気軽にお問い合わせください
まちごと美術館cotocoto パートナー企業
島津印刷株式会社
営業統括本部(担当:風間)
TEL. 0254-27-2101

詳しくはこちらから!

地域福祉マンガ大賞 部門賞

- ◆「ボランティア」部門賞
「Wonderful days」
hakoさん（沖縄県）
- ◆「自分らしさ」部門賞
「あかりがともるとき」
グレうさぎさん（新潟市西区）
- ◆「食」部門賞
「ひーばあちゃんのご飯」
千葉むねむらさん（茨城県）

新潟市西区社会福祉協議会が昨年、全国公募した「地域福祉マンガ大賞」は審査の結果、大賞にかくらみりさん（熊本県）の「蒼太と過ごした夏」が選ばれました。審査結果は西区社協が設けた特設サイトで公開中です。

大賞は「自分らしさ」部門への応募作品です。自閉症の蒼太君が大学生のいとこと夏休みに一緒にお出かけするストーリーで、いこの目を通して自閉症の特性

新潟市西区社協

全国公募の「地域福祉マンガ大賞」

大賞 かくらみりさん（熊本）
「蒼太と過ごした夏」

を温かく描いています。

3つの部門賞は「ボランティア」部門賞にhakoさん（沖縄県）の「Wonderful days」が、「自分らしさ」部門賞にグレうさぎさん（新潟市西区）の「あかりがともるとき」が、「食」部門賞には千葉むねむらさん（茨城県）の「ひーばあちゃんのご飯」が選ばれました。審査員からは「作品のレベルが高く、驚いた」「福祉啓蒙という企画の目的に沿った作品が多く集まった」などのコメントが寄せられたそうです。

「地域福祉マンガ大賞」は日本アニメ・マンガ専門学校との協力で実施。昨年7月から10月末日まで、3つの部門を設けて全国公募したところ、北海道・沖縄、



地域福祉マンガ大賞受賞作「蒼太と過ごした夏」 作品一部

受賞作を収載
作品集発刊へ

希望者に無料進呈

新潟市西区社協は、地域福祉マンガ大賞と部門賞の4作品のほか、審査会で選定した特別賞7作品の計11作品を収載した作品集を3月中旬に発行、希望者には送料本人負担で進呈します。申し込み方法などは西区社協が設けた特設サイトで掲載されます。



「地域福祉マンガ大賞」特設サイト

福祉にいがた
7年度表紙絵

新井さん(加茂)担当

6年度 久保田さんお疲れ様

新潟県社会福祉協議会が毎月、発行する「福祉にいがた」と「福祉にいがたオアシス21」合併号の表紙絵の作者は、令和6年度を担当した久保田学さん(聖籠町)が3月号で終了。令和7年度は4月号から新井里沙さん(加茂市)が担当します。

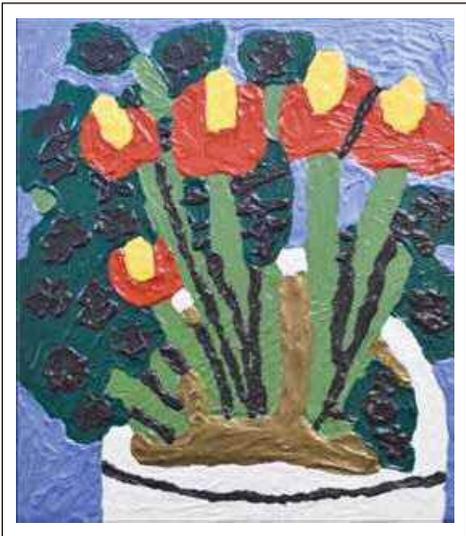


「招き猫」の置物を見ながら作画する新井里沙さん

里沙さんは30代前半。3歳半で自閉症と診断され、療育手帳は重度を示すA判定です。話せないため、取材には母の恵美子さんが答えました。

里沙さんは地元の小・中学校の特別支援学級を卒業した後、一時期、絵画教室で絵を習い、16歳から「アクリル絵の具」を使用。今の作風である、油絵のように厚みのある絵の創作に取り組み始めました。

里沙さんが住むのは、加茂川左岸沿いの店舗兼住宅



鉢花のアンズリウムを描いた作品。アクリル絵の具をたっぷり使うのが特徴で、盛り上がりが見て取れる

「絵を描く時は心底、楽しいようで、いつもうきうき

定です。話せないため、取材には母の恵美子さんが答えました。絵筆を手にした里沙さんは微笑みをたたえて時折、口ずさむような声を出しながら、うれしそう。この日、描いたのは招き猫の置物で、下絵の輪郭を描いた後、アクリル絵の具をたっぷりパレットに出して色を付けていきまし

た。「絵を描く時は心底、楽しいようで、いつもうきうき

きしています」と恵美子さん。1枚を数時間かけ、その日のうちに仕上げてしまいました。これまでに描いたのは花や野菜、果物、動物など身近な素材が中心です。筆遣いは大胆で「作風には温かみがある」と人気です。作品は新聞やテレビなどで紹介され、新潟市や加茂市で個展も開きました。

描いてきた絵について、恵美子さんは「年齢とともに描き方が変化しており、成長として受け止めている」と話しています。

描いてきた絵について、恵美子さんは「年齢とともに描き方が変化しており、成長として受け止めている」と話しています。

新年度の「福祉にいがた」の表紙を飾る里沙ワールドをお楽しみください。一方、久保田さんの作品は「色鮮やかできれい」「デザインが独創的」と、大変に好評でした。印象に残る作品を1年間、ありがとうございます。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

◇おことわり 表紙絵作品の一部を再掲します。

久保田学さん
表紙絵再掲



◀4月号「春の花」



◀7月号「ルージュバック」



◀8月号「パリの花火」



◀11月号「オーケストラ」

自社製品の冷蔵庫、洗濯機など

燕の子ども6食堂へ ツインバードが寄贈

子ども食堂を応援するため、燕市の家電メーカー「ツインバード」が冷蔵庫や洗濯機などの自社製品を市内6つの子ども食堂にプレゼント。1月20日、燕市役所で贈呈式がありました。

このほか、ツインバードが贈ったのはオーブンレンジやオーブントースター、扇風機、サーキュレーター、コーヒーメーカーなど、合



右から関崎智弥さん、野水重明社長、鈴木力市長

わせて22点です。

贈呈を受けたのは「つばめ地域食堂」「おたがいさま食堂」「地域食堂ふらっと」「分水きずな食堂」「白山町みんなの食堂」「みなみくーちゃん食堂」です。

贈呈式ではツインバードの野水重明社長が、子ども食堂を代表して出席した「おたがいさま食堂」の関崎智弥代表に目録を贈呈。鈴木力市長は野水社長に感謝状を贈りました。

この後、関崎代表が「子ども食堂で家電製品はなかなか買えず、ありがたい」と謝意を表し、野水社長は「贈呈して終わりではなく、家電製品のアフターサービスにも努めます」と述べました。鈴木市長は「子ども食堂への支援はありがたい」とたたえました。



新潟ユニゾンプラザ2階の「図書情報ルーム」(通称・ユニゾンの図書館)がお薦めする「今月の本」。

若き日の悩み赤裸々に

「わたしたちが27歳だったころ」の副題は「悩んで、迷って『私』になった 25人からのエール」。

村木厚子、野田聖子、向井千秋、戸田奈津子、大竹しのぶなど、元官僚や政治家、宇宙飛行士、映画字幕翻訳者、女優などで知名度の高い女性がそれぞれ27歳の自分を振り返り、読者への励ましをつづる。著名人たちが語る「昔の自分」がそれぞれに重い。



講談社発行で、同社発行の月刊雑誌「With」(定期刊行終了)の連載をまとめたという。雑誌を知らないため「なぜ女性ばかり登場？」と思ったが、20〜30代の女性向けファッション雑誌だったそうで、なるほど(納得!)

本の「はじめに」にこうあった。「年齢、職業、性別にかかわらず、心の底から共鳴できる言葉や生き方が見つかるはず」

福祉の店 パレット情報

パレット新潟店営業日

2025年		3月					
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31	営業時間 11:30~16:30		…は休業日			

編集後記

3月、年度末だ。当年度の業務を仕上げたり区切りを付けたりして、新年を迎える。慌ただしく、せわしない。この感じ、師走にそっくり。新年を前にした師走、新年を迎える年度末。せわしない時期が近接して2度あるのだ。一方、欧州のフランスやドイツの会計年度は1月1日からとか。暦年と同じだと慌ただしさを感じる時期は年1度で済むのだろうか。日本のこの「近接ダブルスタート」、恐らく、子ども時分から徐々に慣れていき、働いてからは誰しも毎年、器用にやり過ごせるようになる。しかも「心を新たにできる機会が2度もある」と、とらえることもできる。だとしても、せわしない時間をできるなら避けたいのは小生だけ？

ブルーな気分になりがちな年度末を乗り越えれば4月だ。きらめく日差し、芽吹く木々、咲き誇る桜…。眠りから覚め、動き出す万物はみんな美しい。スーツの新社会人、黄色い帽子の新入学生、童。町全体がフレッシュな雰囲気から包まれる。せわしなかったから、よけいに4月は輝いて見えるのか。そう考えれば、年度末のせわしなさにも立派な役目があるように思えてくる。(佐)